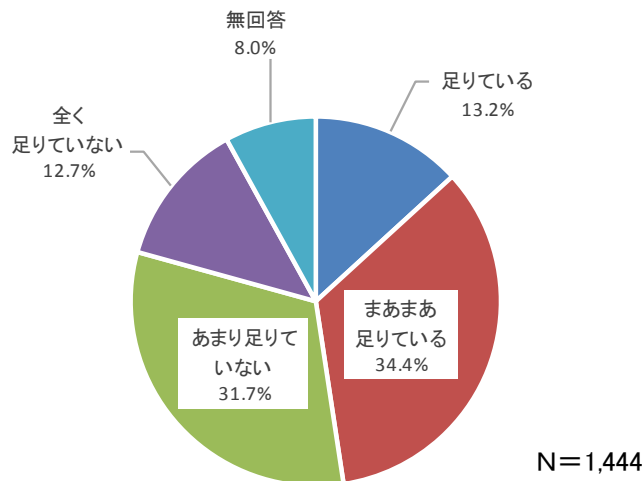


問25. スポーツ施設の充足度に関する評価（SA） 【H28年度新規設定の設問】

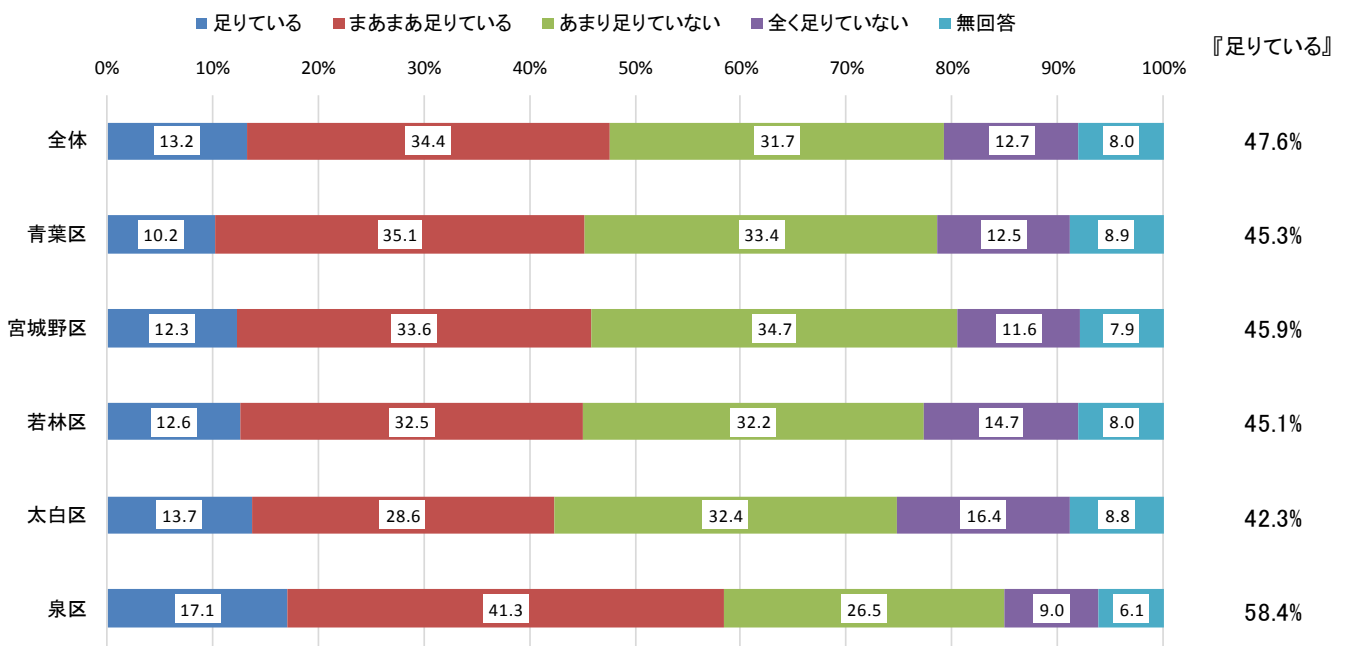
■施設の充足度に対しては“評価層”がやや多い

- 最多は「まあまあ足りている」（34.4%）で、次点は「あまり足りていない」（31.7%）となっている。両極の評価である「足りている」（13.2%）、「全く足りていない」（12.7%）はほぼ同割合で、いずれも1割を少し超える程度である。
- 評価／非評価の区分で見ると、“評価層”（足りている＋まあまあ足りている：計47.6%）、“非評価層”（あまり足りていない＋全く足りていない：計44.4%）では、“評価層”の方がやや高くなっている。



スポーツ施設の充足度に関する評価 ～ 居住区別の比較 ～

- 居住区別に見ると、泉区で“評価層”の割合がかなり高く、6割近く（計58.4%）にも達している。また、「全く足りていない」も全5区中唯一1割を切る（9.0%）。
- 太白区では“非評価層”が5割近くとなっている（計48.8%）。

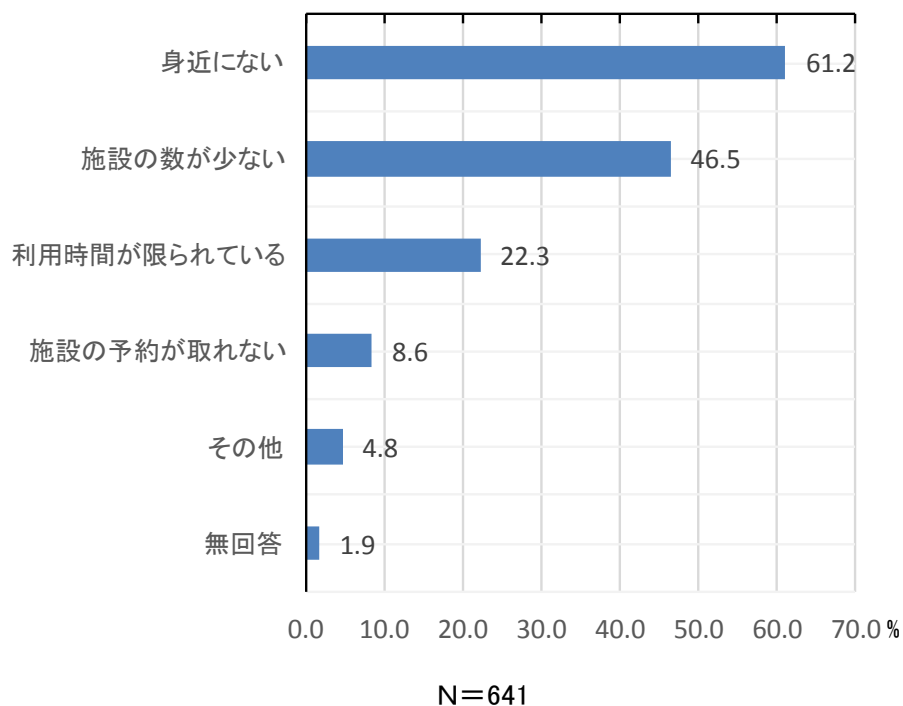


問 2 6. スポーツ施設が「足りていない」と思う理由（MA） 【H28 年度新規設定の設問】

■足りていないと感じる主な理由は「身近にない」、「施設の数が少ない」

前問 25 で「あまり足りていない」・「全く足りていない」と回答した方 641 人に伺った。

○最多は「身近にない」で 6 割強（61.2%）、以下やや離れて「施設の数が少ない」（46.5%）と続く。
この上位 2 項目が“足りていない”と感じる主な理由であると捉えることができる。



問27. 今後設置してほしいスポーツ施設（MA） 【H28 年度新規設定の設問】

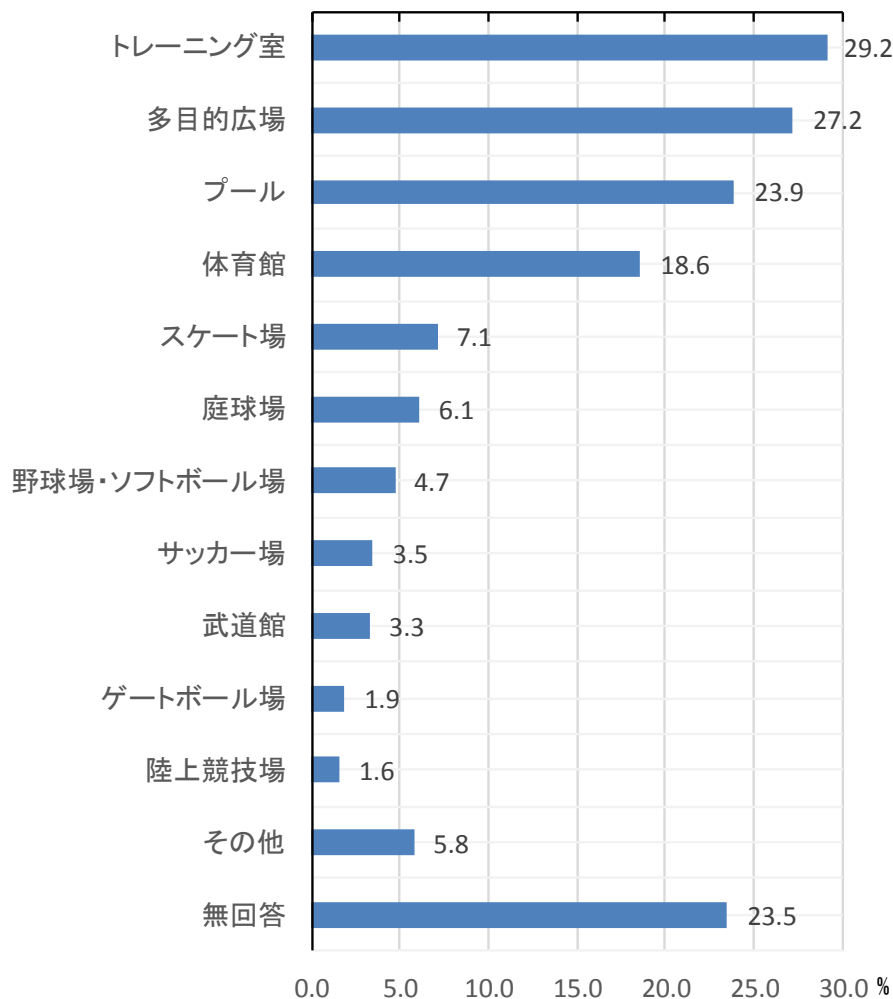
- 希望の最多は「トレーニング室」で3割
- 支持割合は屋内／屋外施設に比較的分散している
- “競技専用”の施設は支持割合が低い傾向

○最多は「トレーニング室」（29.2%）で、以下「多目的広場」（27.2%）、「プール」（23.9%）と続いており、この3項目の支持割合が2割を超えている。これに「体育館」（18.6%）までを含めた計4項目が主要な希望施設と捉えることができる。

上位／下位の差は出るが、全体として見ると、支持割合が大きく集中している項目はなく、屋内／屋外の施設に回答が比較的分散している様子が伺える。

○「スケート場」や「サッカー場」など、“その競技専用”で用いる施設は概して支持割合が低い傾向が見られる。

○問13（P22～参照）で「ジムトレーニング」や「水泳」、「ヨガ・ピラティス」の支持割合が高かったこともあり、（全てではないが）それを裏付ける結果になったと解釈することができる。

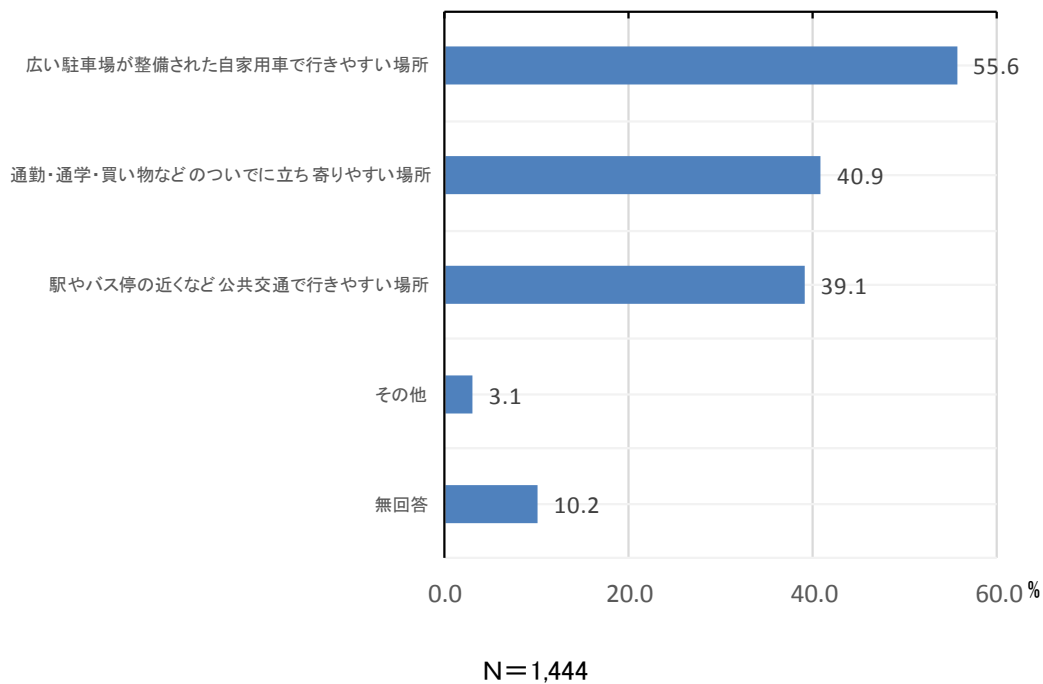


N=1,444

問 28. 利用しやすい施設の設置場所に関する条件（MA） 【H28 年度新規設定の設問】

- 最多支持は「車で行きやすい場所」
- 項目数が少ないこともあり、回答は分散傾向

- 最多は「広い駐車場が整備された自家用車で行きやすい場所」で5割超（55.6%）、以下「通勤・通学・買い物などのついでに立ち寄りやすい場所」（40.9%）、「駅やバス停の近くなど公共交通で行きやすい場所」（39.1%）がほぼ同割合で続く。
- 「車で行きやすい場所」が5割を超える支持を集めてはいるが、他の2項目も一定以上の支持割合で、かつ差も大きく開いていないことから、支持はほぼ分散していると捉えることができる。



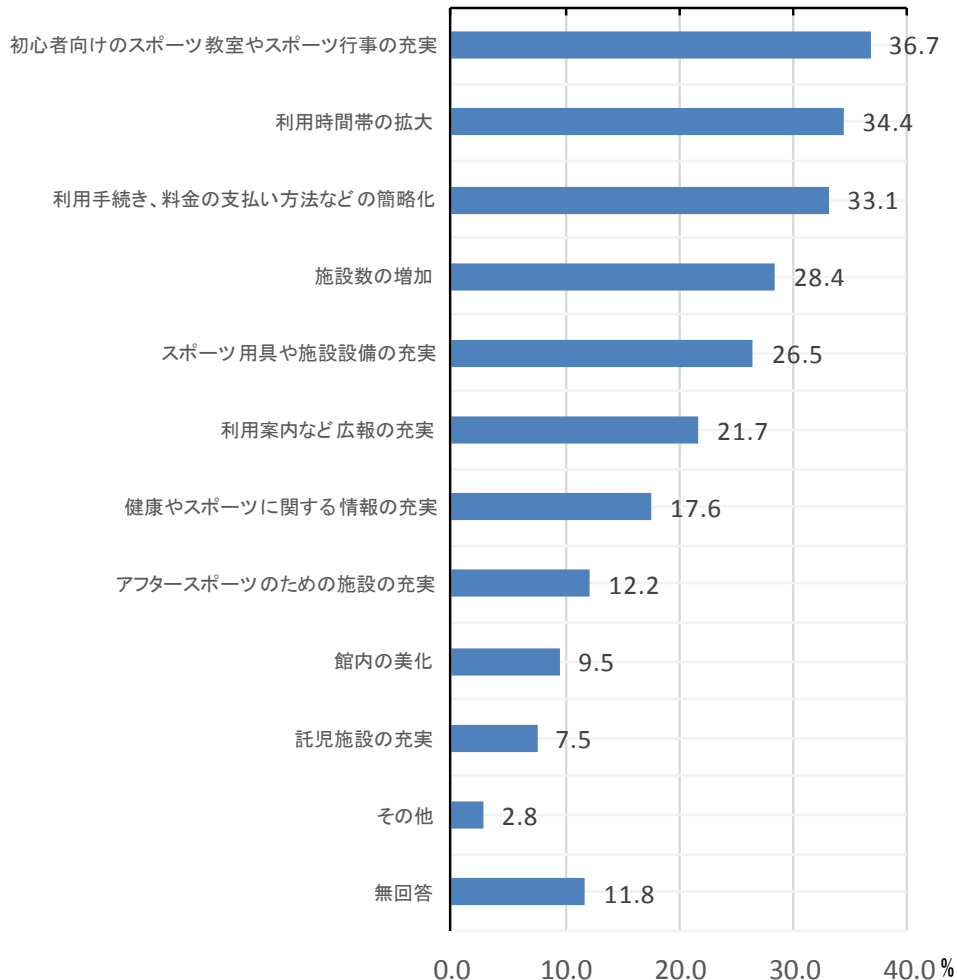
問 2 9. 公共のスポーツ施設に望むこと (MA) 【H28 年度新規設定の設問】

■「初心者向け行事の充実」、「利用時間帯の拡大」、「手続き・支払いの簡略化」が主要望

※当設問は本来回答数が制限（〇は3つまで）された設問であるが、実際は制限数を超える回答が多く寄せられたため、全ての回答を活かすために『複数回答設問』（MA設問）と同様に扱い、集計・分析を行っている。

○最多は「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」(36.7%)で、以下「利用時間帯の拡大」(34.4%)、「利用手続き、料金の支払い方法などの簡略化」(33.1%)と続き、この3項目で支持割合が3割を超えている。

○この他、「施設数の増加」(28.4%)、「スポーツ用具や施設設備の充実」(26.5%) も高い



N=1,444